

施策マネジメント評価シート

【基本情報】

施策の大綱(目標)	みどりあふれる快適で人にやさしいまち(環境と都市基盤)				
施策分野	みどりと水				
施策	環境基本計画の計画的推進				
指標名	第2次環境基本計画の達成率(平成27年度～32年度)	まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載	-	担当課	環境政策課

【指標結果】

現状(26年度)	目標	結果	評価	結果の説明	改善事項	次年度に向けての課題・展望									
	—														
28年度	↓	47.3%	B	ごみ減量や地球環境保全のための取組は比較的順調に進んでいる一方、緑地の創造や地下水・湧水の保全などの取組は、農地の保全・活用や雨水浸透ますの設置などに力を入れているものの、取組は限定的であった。	<table border="1"> <tr><td></td><td>コスト</td><td rowspan="4">第2次環境基本計画の改訂を受け、8つの基本目標ごとの基本施策・取組方針の体系を見直すとともに、各課の取組についても再整理を行った。</td></tr> <tr><td>○</td><td>作業量</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>なし</td></tr> </table>		コスト	第2次環境基本計画の改訂を受け、8つの基本目標ごとの基本施策・取組方針の体系を見直すとともに、各課の取組についても再整理を行った。	○	作業量		その他		なし	来年度、環境基本計画に掲げる基本目標を実現するための各課の具体的な取組を示した環境保全実施計画の見直しを行うこととなり、より計画の進捗状況の見える化を図れるよう配慮していきたい。
	コスト	第2次環境基本計画の改訂を受け、8つの基本目標ごとの基本施策・取組方針の体系を見直すとともに、各課の取組についても再整理を行った。													
○	作業量														
	その他														
	なし														
29年度	↓	57.7%	B	通常業務は、継続して実施することに価値があるものが多い中、わずかながらも充実や改善に取り組むことで、着実に達成率を向上させている。特に、ごみ減量施策や地球環境保全に関する取組は、比較的順調に推進できており、引き続き、現水準の維持が肝要である。しかし、一方で未だに着手できていない事業も一部ある。	<table border="1"> <tr><td></td><td>コスト</td><td rowspan="4">保存樹木については、市民からの申請を待つのではなく、行政側から勧誘することで指定数を伸ばし、民有地の緑の保全を推進した。また、湧水の水质調査地点を1か所増やし、地下水・湧水の情報収集・情報発信の充実を図った。</td></tr> <tr><td>○</td><td>作業量</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>なし</td></tr> </table>		コスト	保存樹木については、市民からの申請を待つのではなく、行政側から勧誘することで指定数を伸ばし、民有地の緑の保全を推進した。また、湧水の水质調査地点を1か所増やし、地下水・湧水の情報収集・情報発信の充実を図った。	○	作業量		その他		なし	未着手事業の課題を分析し、計画期間中での取組の実現性について検証する。その上で、実現可能なものについては、積極的に取り組みつつ、次期環境基本計画へ延伸すべきもの、事業の具体的内容を再検討すべきもの、廃止するもの等についても検討を開始する。
	コスト	保存樹木については、市民からの申請を待つのではなく、行政側から勧誘することで指定数を伸ばし、民有地の緑の保全を推進した。また、湧水の水质調査地点を1か所増やし、地下水・湧水の情報収集・情報発信の充実を図った。													
○	作業量														
	その他														
	なし														
30年度	↓	67.9%	B	市民を対象とした講座等の回数を増やす、内容の見直しを行う等により参加者数の増加がみられた。これら取組が達成率の向上につながった。計画のとおり実施されている取組がほとんどであるが、着手できていない事業も一部ある。	<table border="1"> <tr><td></td><td>コスト</td><td rowspan="4">平成29年度に引き続き、保存樹木について周知することで新規に64本の保存樹木の指定をし、民有地の緑の保全を推進した。営農困難な農地を市民農園として1園開設し、農地の保全活用を図った。</td></tr> <tr><td>○</td><td>作業量</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>なし</td></tr> </table>		コスト	平成29年度に引き続き、保存樹木について周知することで新規に64本の保存樹木の指定をし、民有地の緑の保全を推進した。営農困難な農地を市民農園として1園開設し、農地の保全活用を図った。	○	作業量		その他		なし	未着手事業を抽出し、実現可能性も含めて精査する。次期環境基本計画に向けた基礎調査と合わせて課題を明らかにし、事業の具体的内容の変更、廃止等について検討する。
	コスト	平成29年度に引き続き、保存樹木について周知することで新規に64本の保存樹木の指定をし、民有地の緑の保全を推進した。営農困難な農地を市民農園として1園開設し、農地の保全活用を図った。													
○	作業量														
	その他														
	なし														
31年度(令和元年度)	↓				<table border="1"> <tr><td></td><td>コスト</td><td rowspan="4"></td></tr> <tr><td></td><td>作業量</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>なし</td></tr> </table>		コスト			作業量		その他		なし	
	コスト														
	作業量														
	その他														
	なし														
32年度(令和2年度)	80%				<table border="1"> <tr><td></td><td>コスト</td><td rowspan="4"></td></tr> <tr><td></td><td>作業量</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>なし</td></tr> </table>		コスト			作業量		その他		なし	
	コスト														
	作業量														
	その他														
	なし														